

萩生田経済産業大臣 提出資料

＜発言要旨＞

- 大企業と中小企業が「イコールパートナー」として、それぞれが生み出した付加価値が適正に分配されることは、我が国経済全体の成長のためにも重要です。
- 私自身、こうした思いを持って、大臣就任以来、取引適正化対策に取り組んでまいりました。本日、「価格転嫁対策パッケージ」が取りまとめられましたが、引き続き、関係省庁と連携しながら、この取組をしっかりと進めてまいります。
- 経済産業省としても、
 - ① 下請Gメンを倍増し、年間1万者以上の下請企業のヒアリングを行うほか、
 - ② 「パートナーシップ構築宣言」については、その実効性を強化するとともに、補助金における加点などのインセンティブ措置も講じてまいります。また、先日、経団連の皆様には、漏れなく宣言いただくよう、要請させていただきました。次回の「パートナーシップ構築推進会議」の場では、対応状況の御説明をお願いいたします。
 - ③ 更に、賃上げ税制の抜本的な拡充などにより、賃上げに向けた環境整備を強力に進めてまいります。
- 最後に、取引先の中小企業から、労務費等の上昇に伴う価格転嫁の申し出があった際は、是非、積極的に応じていただくよう、お願いいたします。